

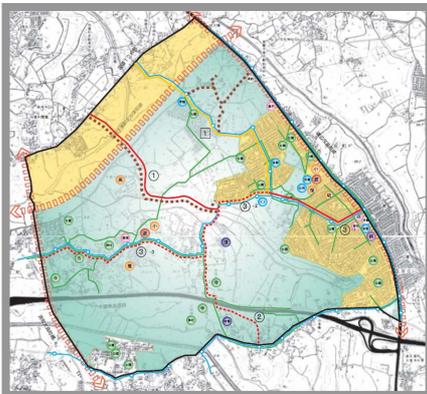
□ 地区交通環境改善の諸計画

交通計画には、「都市や地域全体を対象とする都市交通計画」と「日常生活範囲を対象とする地区交通計画」があります。地区交通計画は、地区の交通に起因する環境の改善が目的で、住民の方にとってとても身近な計画です。地区の交通環境改善では、生活するすべての方にとって、安全で快適な環境をつくることが重要です。地区交通では次の問題がよくみられます。

- ①生活道路における歩行者や自転車の交通事故が多い、消防活動困難箇所も解消されていない
- ②高齢者や身体障害者等の移動制約者にとって安全なモビリティが確保されていない
- ③地域中心である鉄道駅とその周辺において、それに相応しい質の高い交通環境が整備されていない

解決するために

1 生活道路整備基本計画の策定例



千葉市若葉区を対象に、生活道路（地区主要道路及び地区内）道路の基本計画を策定しました。若葉区を49地区に分け、各地区について、地区の現況、問題点・課題、整備方針を策定し、生活道路の配置案を提示しました。

生活道路の配置は、標準配置間隔と標準幅員を設定し、各地区について、交通処理、延焼防止、消防活動困難地、主要施設（コミュニティ施設・学校・生活利便施設）及び住宅密集度の観点から、地区に相応しい計画としました。

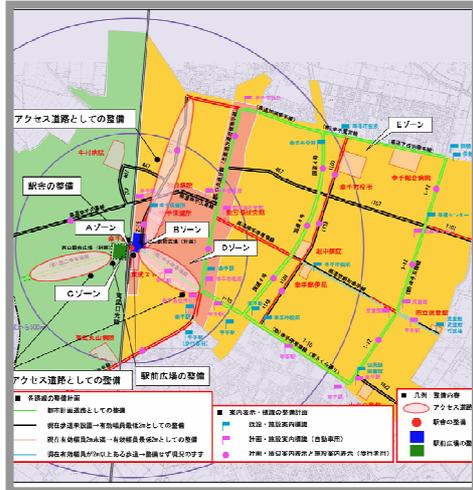
2 バリアフリー基本構想の策定例



平成12年11月の交通バリアフリー法の施行に伴い、全国の各自治体では、住民・利用者と行政・関係機関の協働体制のもとで「バリアフリー基本構想及び各特定事業計画」を策定し、それをもとにユニバーサルデザインの思想からのバリアフリー歩行空間の整備を進めることになりました。

弊社は、東京都北区交通バリアフリー基本構想を策定しました。この計画策定に際しては、北区交通バリアフリー協議会を設置し、ヒアリング調査、アンケート調査、まち歩き体験を企画・実施しました。現在、事業化へ向けて、各駅ごとについての詳細な計画の立案段階へと進んでいます。

3 駅周辺交通環境改善計画の策定例



駅周辺交通環境改善計画とは、駅から1 km以内を対象に、歩行者、自転車、自動車の交通環境、乗り換え、バリアフリー状況を把握し、交通処理改善、乗換え利便性向上、バリアフリー化の計画を策定するものです。この計画により、交通結節点改善事業をはじめとする各種事業が集中的に実施可能となります。

弊社が策定した幸手駅を対象とする交通環境改善計画では、駅前広場、駅アクセス道路の整備が優先的に実施されることとなり、地域の方の長年の要望が実現することになりました。

4 計画策定のためのコンサルティング技術

データ解析・交通予測技術

● アンケート調査の解析

アンケート調査は、地域住民の方のニーズを把握する方法のひとつで、多くのケースで実施されますが、解析はクロス集計することで終わりがちです。弊社では、評価尺度分析、顧客満足度グラフ、コンジョイント分析等の統計解析手法を用いて解析を行っています。

● 交通マイクロシミュレーション

地区内に新たに道路を整備したり、地区内に新たに集客施設が立地した時に、地区内の交通流動の変化を予測して対策を立案します。弊社では、交通マイクロシミュレーションプログラムにより、それらの予測・評価を行い、地区交通計画を立案しています。また、そのシミュレーション結果をアニメーション化し、委員会等のプレゼンテーション資料としています。

コミュニケーション技術

● 委員会・協議会

住民、学識経験者、行政等で構成し、基本方針等を議論し合意形成を図ります。



● ワークショップ

地域住民の方が意見交換しながら、利害が対立する事項の意見集約を図ります。



● 体験調査

協議会等のメンバーの方に、現地を歩きながら問題を体験して頂きます。



5 業務実績

- ・山形市街地自歩道空間ネットワーク計画調査／・千葉県生活道路基本計画調査・検討業務
- ・東十条駅周辺バリアフリー化基本構想策定／・幸手駅周辺交通環境改善計画
- ・習志野市交通バリアフリー基本構想策定のための現況調査／・福岡地区道路空間高度化検討業務
- ・新橋駅西口周辺道路整備基本計画策定調査／・JR京浜東北線各駅周辺交通バリア実態調査
- ・関内駅・鶴見駅周辺地区道路特定事業計画



セントラルコンサルタント株式会社

<http://www.central-con.co.jp>

お問い合わせ先：東京事業本部 環境交通部 交通グループ